

広島技調じゃけん！通信

2021.7
Vol.43
SUMMER

今年に入り、当事務所と土木学会共催の講演会「実りある学舎」を2度（昨年度含む）開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響でWEB会議となりましたが、令和2年度第2回は133名、令和3年度第1回は過去最多となる185名の方に聴講いただき、好評のうちに終わることができました。

なお、実りある学舎については、次回秋頃の開催を予定しておりますので、**広島技調** にご興味のある方はぜひご参加ください。

検索

令和2年度
第2回

実りある学舎を開催しました！ ～カルシア改質土が港湾整備を変える～

港湾・空港等工事におけるリサイクル材の促進について、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」が平成30年4月に改訂され、建設副産物、産業副産物等を港湾・空港等工事の建設資材として利用する際の技術的取り扱い及び法令面での取り扱いについて示されたところです。その中で、中国地方整備局管内では浚渫土砂の活用は重要な課題となっており、浚渫土砂とスラグを混ぜ合わせたカルシア改質土については、これまで、室内試験や研究開発を重ね、平成29年2月に「カルシア改質土利用技術マニュアル」が発刊されています。しかし、港湾整備におけるカルシア改質土の活用は、実績も少なくこれからです。

本講演では、カルシア改質土研究会 技術委員長（五洋建設株式会社 土木部門 顧問）中川雅夫 氏を講師にお迎えし、カルシア改質土の性質や活用実績、最新の知見についての解説をしていただき、今後の港湾整備の活用の可能性についてご講演いただきました。



講演会風景（広島技調）

《日 時》

令和2年2月4日(木)
14:00～16:00

《テーマ》

カルシア改質土が
港湾整備を変える

《講 師》

カルシア改質土研究会 技術委員長
(五洋建設株式会社 土木部門 顧問)
中川 雅夫 氏

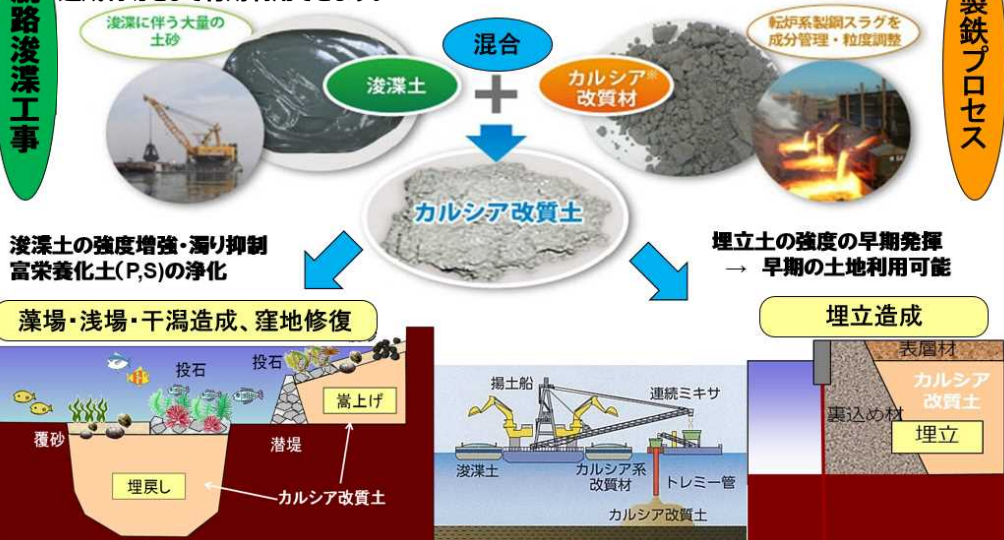


カルシア改質土とは

カルシア改質土とは、軟弱な浚渫土に、転炉系製鋼スラグを製品化した「カルシア改質材」を混合して改質した改良土で、沿岸環境再生のための浅場・干潟造成材・潜堤材や埋立造成材等として有効利用できます。

航路浚渫工事

製鉄プロセス



聴講者からは
「カルシア改質土の基本特性から工事事例まで解説いただき、参考になった」
「実施工による実績の積み重ねによるブラッシュアップが大切だと感じた」
などの感想が寄せられました。

※カルシアとは酸化カルシウム (CaO)のことを意味します